

# 平成30年度 一橋大学大学院経済学研究科

## 特別選考による外国人の修士課程学生募集要項

一橋大学大学院経済学研究科がめざすのは、専門的な知識と分析能力を備えた研究者・実務家を数多く育てていくことです。このために学生は、大学院でスキルを磨き専門知識を獲得する必要があります。当研究科に入学を志す学生は、それまでに受けてきた教育、それによって培われた素養、本人の問題関心などの点で、様々な状況にあります。このことを前提としたうえで、前記の目的を果たすため、当研究科では、各分野のコア科目を中心として、積み上げ方式のコースワークに基づいた教育システムを採用しています。学生諸君には、入学後、自分にあったコースを見つけて、基礎から高度な専門的レベルに至るまで、体系的な学習と訓練を受けていただくこととなります。入学試験受験者に要求されるのは、したがって、ある領域に特化した専門的知識をもつことよりも、幅広い常識と、高い学習意欲・能力を備えていることです。優秀な教授陣を擁し、世界的に見てもトップクラスにあると自負する私たちのプログラムに、積極的に参加する姿勢を持つことが、なによりも必要とされます。

### 1. 募集人員

研究者養成コースは、広い視野に立って精深な学識を養い、専攻分野における研究および応用の能力を培うことを目的としています。専修コースは、高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としています。

コース	専攻	募集人員
研究者養成コース および 専修コース	総合経済学	合わせて10名程度 (過去3年間における入学者数は、 平成29年度13名、平成28年度 19名、平成27年度17名)

注1) 研究者養成コースは、博士後期課程進学を前提としたコースです。これに対して専修コースは、修士号取得をもって修了することを基本としています。博士後期課程進学要件は、両コース共に同一です。

注2) 専修コースでは、「公共政策」、「統計・ファイナンス」、「地域研究」および「医療経済」の4つの専門職業人養成プログラムに参加することもできます。このプログラムへの参加選考については入学後に説明します。

### 2. 出願資格

以下の(1)に該当し、かつ(2)、(3)、(4)のいずれかに該当する者

- (1) 外国籍を有し、入学時(平成30年4月1日)までの日本滞在期間が2年1ヶ月以下(注1)であること。
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、B.A.またはB.S.を取得した者および平成30年3月までに取得見込みの者
- (3) (2)に準ずる学歴を有する者(注2)
- (4) 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者および平成30年3月までに学士の学位を授与される見込みの者

注1) 文部科学省の日本語・日本文化研修留学生等として日本に滞在した期間を除く。

注2) 出願資格(3)による志願者は、平成29年11月24日(金)までに経済学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合わせてください。

### 3. 出 願 書 類

	書 類 等	提 出 者	摘 要
1	入 学 志 願 票	全 員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
2	卒業（見込）証明書等	上記出願資格 （2）（3） の 出 願 者	出身大学の卒業証明書および取得した学位（B.A.またはB.S.等）を明記した証明書（日本語または英語）。ただし、卒業見込みの者は卒業見込証明書をもってこれに代えます。
		上記出願資格 （4） の 出 願 者	大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書、もしくは短期大学長または高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書。
3	写 真 票	全 員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
4	成 績 証 明 書	全 員	出身大学の学長または学部長が作成したもの。
5	学 業 評 価 書	全 員	交付の用紙を用い、出身大学の学長、学部長または指導教員もしくはこれに準ずる者が作成し、 <u>厳封</u> したもの（日本語または英語）。ただし、卒業後、出身大学以外の大学等に在籍している者は、その大学等の学長、学部長または指導教員もしくは研究状況や研究目標等について十分な評価をなし得る者の学業評価書をもってこれに代えることができます。
6	「TOEFL」の 成 績 証 明 書	全 員	平成28（2016）年2月以降に実施された「TOEFL」の成績証明書。 （1）ETS から直接、一橋大学に公式の成績証明書が送付されるように手配してください。 <u>出願期間前必着</u> です（本学の Institution Code は0436。経済学研究科の Department code は84）。 （2）ETS から志願者本人に送付された成績証明書の写しを提出してください。 *上記（1）（2）の <u>両方</u> が必要です。 *TOEFL テスト ITP スコアの使用は認めません。 *ただし、英語が主に使われている国で学位を取得した場合には、TOEFL 成績証明書の提出を免除します。
7	研 究 計 画 書	全 員	これまでの学習内容および今後の学習・研究の目的、進め方、方法等について、 <u>具体的かつ詳細にかつ日本語または英語</u> で、A4判もしくはレターサイズ用の用紙、11ポイントのフォント、ダブル・スペースで、4,000字（日本語の場合）、2,000語（英語の場合）以内にまとめたものを、4部（交付の表紙を付した正本1部およびその写し3部、計4部を提出してください）。
8	口述試験参考資料	全 員	交付の用紙に必要事項を記入してください。
9	研 究 歴 を 証 明 する 書 類	該 当 者	大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない者のみ。
10	受験票送付用封筒	全 員	【日本国内に在住の者】 長形3号封筒（ハガキが入る大きさ）に、簡易書留相当分（392円）の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名、郵便番号を明記してください。
			【日本国外に在住の者】 受験票を電子メールで送付しますので、志願票の現住所欄に必ず電子メールアドレスを記載してください。また、試験7日前までに受験票が届かない場合には、必ず問い合わせてください。
11	住民票の写し（またはパスポートの写し）	全 員	市区町村長が交付する住民票の写し（在留期間、在留資格を明記したもの）を提出してください。ただし、住民票の写しの発行が不可能な場合のみ、代わりにパスポートの写しを提出してください。

12	検 定 料 30,000円	全 員	<p>【日本国内に在住の者】</p> <p>検定料30,000円分を以下の口座へ振り込み、明細書の写しを出願書類と一緒に提出してください(原本を提出しても特に希望がなければ返却はいたしません)。</p> <p>銀行名： 三井住友銀行  SWIFT Code： SMBC JP JT  支店名： 国立支店  口座名： 国立大学法人一橋大学経済学研究科検定料口  口座番号：普通預金 7761762</p> <p>なお、日本政府(文部科学省)奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。</p>
			<p>【日本国外に在住の者】</p> <p>別紙「日本国外に在住する者による検定料支払方法の手順」に従ってください。</p> <p>*海外の銀行からの送金による検定料の支払いも可能です。</p>

注) 提出書類のうち英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語または英語訳を添付してください。

#### 4. 出 願 方 法

- (1) 研究者養成コースと専修コースとの併願は認めません。
- (2) 志願者は、上記の出願書類を一括し(書類は上から上記の番号順になるように封入してください)、郵送(書留郵便)により提出してください。書類を持参しての出願は受け付けません。封筒の表面左下に「大学院出願書類在中」と朱書き、出願期間内に必着とします。
- (3) 出 願 期 間  
平成30年1月5日(金)から1月11日(木)まで
- (4) 出願書類の提出先  
〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院経済学研究科

#### 5. 選 考 方 法

一次選考では、学業評価書、研究計画書、TOEFLの成績、筆記試験(日本語試験および経済学試験)の結果を総合して選抜を行います。一次選考合格者に対して二次選考を行います。二次選考では、学業評価書、研究計画書、経済学試験および口述試験の結果を総合して可否を決定します。

#### 6. 筆 記 試 験

筆記試験は、ミクロ・マクロ経済学、政治経済学、統計学・計量経済学、経済史の4科目から任意の1科目を選択してください。英語による解答も認めます。

- (1) 筆記試験期日・科目・時間

期 日	試験科目	試 験 時 間	備 考
平成30年1月31日(水)	経済学	10:00~12:00	(1) 4科目から任意の1科目を選択。 (2) <u>辞書(英和・和英等、2ヶ国語間の対訳辞書)の持ち込みを認めます。ただし、用語集や事典類、および電子手帳タイプの辞書の持ち込みは認めません。</u>
	日本語	14:00~15:20	日本語についての試験。辞書の持ち込みは認めません。

## (2) 試験室への入室

受験者は各試験の開始時間15分前までに試験室に入室し、指定された座席に着席してください。

## (3) 試験室の発表

筆記試験の試験室は、平成30年1月30日(火)13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

## (4) 一次選考合格者発表

平成30年2月8日(木)13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

## 7. 口述試験

一次選考の合格者に対して、口述試験を行います。志願票に「英語による口述試験を希望する」と書いた受験者については、希望を考慮します。

### (1) 口述試験期日・時間・方法

期 日	試 験 時 間	試 験 方 法
平成30年2月9日(金)	12:00~16:00	研究計画書にもとづいて、専攻に関連する事項、およびその他について口述試験を行います。

### (2) 試験室および時間割の発表

口述試験の試験室および時間割は、平成30年2月8日(木)13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

## 8. 試験場

東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学

JR中央線 国立駅南口下車、南へ徒歩約10分

## 9. 合格者発表

平成30年2月21日(水)13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

なお、合格者には通知します。

## 10. 入学手続き

### (1) 入学料の納入期間

平成30年3月2日(金)から3月8日(木)まで

この期間内に納入がない場合は、入学辞退者となります。

### (2) 入学料の納入額

282,000円

注) 本学には、入学料の免除・徴収猶予の制度があるので、希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください(入学料の納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください)。

### (3) その他

入学手続きに必要な提出書類とその提出方法については、合格者に改めて通知します。

授業料(年額535,800円)については、入学後に納入することとなります。

納入時期・納入方法については改めて通知します。

入学料・授業料の納入金額は予定額であり、この納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

## 11. 注意事項

- (1) 入学試験に関する事務は、すべて経済学研究科事務室で行います。
- (2) 入学試験に関する照会は、書面、電子メール ([ec-kyomu@econ.hit-u.ac.jp](mailto:ec-kyomu@econ.hit-u.ac.jp)) または、ファックス (042-580-8195) で行ってください。電話による問い合わせには応じられません。
- (3) 入学までに、「出入国管理および難民認定法 (昭和26年政令第319号)」において大学院入学に支障のない在留資格を有することが必要です。
- (4) 外国政府派遣留学生については、入学手続き時に派遣元機関からの入学承諾書が必要です。
- (5) 出願後のコースの変更は認めません。
- (6) 出願書類は返却しません。既納の検定料の払い戻しは行いません。また、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません (ただし検定料振込明細書、パスポートならびに本人用 TOEFL 成績証明書の写しを除く)。
- (7) 試験の際には必ず受験票を持参してください。
- (8) 志願者が記入する書類は、すべて黒または青のペンまたはボールペンで記入してください。
- (9) 身体機能に障害がある人は、出願に先立ち、経済学研究科事務室に必ず申し出て相談してください。申し出を受け、本研究科において、受験時や入学後の学習に際して可能な限り配慮します。
- (10) 入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。
- (11) 出願資格に関する項目が変更される可能性がありますので、出願する前に必ず、経済学研究科のホームページをご確認ください。

### ※国際学生館景明館および国際学生宿舎 (学生寮) について

本学国際学生館景明館および国際学生宿舎 (学生寮) への入居希望者は、平成29年12月中に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。

<http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html> (国際学生館景明館)

<http://international.hit-u.ac.jp/jp/curr/accom/apply.html> (国際学生宿舎)

## 日本国外に在住する者による検定料支払い方法

日本国外に在住する者は、以下の手順でクレジットカードにより検定料を支払うことができます。

1. 一橋大学ウェブページの当該 URL

<<http://www.hit-u.ac.jp/admission/postgraduates/announce.html>>

にアクセスした上で、最後から2行目の<検定料支払い画面へ>というリンクをクリックしてください。このリンクから外部のクレジットカードによる支払いページにジャンプします。

2. そのページにある指示に従い、検定料 30,000 円分の支払を完了してください。
3. 検定料支払完了を示す電子メールを印刷したものを、出願書類に同封してください。

平成30年度

一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学志願票

受験番号

※記入しないこと

志望コース名		<input type="checkbox"/> 研究者養成コース <input type="checkbox"/> 専修コース			
志望専攻名		総合経済学			
氏名	フリガナ	.....			
	自国語表記				
	ローマ字表記	Family name,		First name	
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	国籍	2018年4月1日までの日本滞在期間(募集要項「2.出願資格」)		年 月
生年月日	19 年 月 日	年齢	才		
出身大学	大学		学部	学科	
	年 月 日		<input type="checkbox"/> 卒業	<input type="checkbox"/> 卒業見込	
現住所	〒 E-mail: 電話: 携帯電話(または緊急連絡先):				<p><b>写真貼付欄</b></p> <p>1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身、脱帽、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。 2. 写真の裏面に志望研究科・氏名を記入すること。</p>
合格通知送付先	〒				
研究題目					
研究分野(複数選択可)	<input type="checkbox"/> ミクロ経済学 <input type="checkbox"/> マクロ経済学 <input type="checkbox"/> 政治経済学 <input type="checkbox"/> 統計学・計量経済学 <input type="checkbox"/> 経済史				
口述試験の際、英語による口述試験を希望するか			<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない		
学歴	中学校卒業(外国人は小学校入学)から記入すること	学校名(所在地)	正規の修業年限	在学期間(西暦)	専攻分野・取得学位等(大学)
			年	年 月入学 年 月卒業 ～	
			年	～	
			年	～	
			年	～	
			年	～	
			年	～	
以上を通算した全学校教育修学年数			年	年 月	
研究歴・職歴等	研究機関・勤務先名(所在地)	年数	研究・在職期間(西暦)	研究テーマ・勤務内容	
		年	年 月 年 月 ～		
		年	年 月 年 月 ～		
		年	年 月 年 月 ～		

1. 記入は楷書またはローマ字体、数字は算用数字を用いること。
  2. 固有名詞はすべて正式な名称とし、省略しないこと。
  3. は該当するものにチェックを入れること。
- 記入欄が足りない場合は、別紙に記入の上、添付すること。

平成30年度  
一橋大学大学院修士課程  
入学試験写真票

経済学研究科	※ 受験番号
--------	-----------

氏名	(ふりがな)	男 ・ 女
	(ローマ字)  年 月 日生	

**写真貼付欄**

1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身脱帽、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。

2. 写真の裏面に志願研究科・氏名を記入すること。

経済学	※
日本語	※
口述	※

記入上の注意

- ※印欄は記入しないこと
- 性別を○で囲むこと



受験番号

※

# 学業評価書

志願者 氏名

記入欄

今までの研究の成果、将来の研究計画、志願者について特記すべき能力など参考となる点をなるべく具体的に御記入願います。

平成 年 月 日

評価者 (大学名等)

(職名等)

氏名

印

※印は記入しないこと。

受験番号
※

平成30年度

一橋大学特別選考による  
外国人の大学院修士課程  
入学志願者研究計画書

( 研究者養成コース ・ 専修コース )

(志望コースを○で囲むこと)

研究テーマ

---

氏 名

---

- 注意
1. 左綴じとすること。
  2. ※印欄には記入しないこと。

平成30年度  
特別選考による外国人の  
修士課程入学志願者口述試験参考資料

志願研究科	受験番号
経済学研究科	※

氏 名	(フリガナ)
--------	--------

1. 志願者の母国語（それに準ずるものを含む）

\_\_\_\_\_ 語

2. 母国語以外に修得した外国語（日本語を除く）

\_\_\_\_\_ 語

\_\_\_\_\_ 語

	よくできる	普通	やや困難
読む			
書く			
話す			

	よくできる	普通	やや困難
読む			
書く			
話す			

(それぞれの外国語について、該当する欄に○をつけること。)

注意 ※印欄には記入しないこと。

# 一橋大学大学院経済学研究科要覧

- 1 大学院は、一般的並びに専門的教養を基礎として、社会科学の専攻分野を究め、高い学識と研究能力を養うことによって広く文化の向上発展に寄与すること又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより社会に貢献することを目的及び使命とする。(学則第33条)
- 2 本学大学院経済学研究科には、下記に掲げる授業科目がある。

## ○コア科目

上級ミクロ経済学 中級マクロ経済学	上級マクロ経済学 中級計量経済学	上級計量経済学 上級政治経済学 I	比較経済史	中級ミクロ経済学
----------------------	---------------------	----------------------	-------	----------

## ○ミクロ経済学

上級ミクロ経済学 経済システム論 I・II 国際経済政策論 I・II 都市空間論 公共経済特論A～F 法と経済学 医療保険論 上級環境経済学 I・II 実験経済学 開発政策論 特別講義(アジア開発金融論)	中級ミクロ経済学 ゲーム理論 I・II 国際経済開発論 I・II 産業地理学 Contemporary Public Policy A～F 医療経済学セミナー 医療産業論 上級資源経済学 I・II 特別講義(Behavioral Topics) 開発途上地域論 開発援助論	上級理論経済学 I・II 特別講義(契約と組織の経済学) 上級労働経済学 I・II 経済立地論 I・II 医療経済分析 健康増進政策論・医学総論 上級技術経済学 I・II 上級開発経済学A～F 開発情報システム論 開発と環境	経済数学 I・II 特別講義(マーケット・デザイン) 人的資源論 経済社会空間論 租税理論 医療工学概論 医療管理政策論 環境・資源経済分析A～F 比較経済発展論 産業開発論 応用ミクロ経済学A～F	数理経済学 上級国際経済学 I・II 上級産業経済学 I・II 公共経済学 I・II 公共支出論A・B 医療経済論 II 保健医療活動とリスク管理 上級現代経済論 I・II 地域開発論 開発金融論
--	--	---	---	---

## ○マクロ経済学

上級マクロ経済学 上級現代経済論 I・II 特別講義(Value Investing in Asia)	中級マクロ経済学 国際通貨論	金融経済論 I(数値分析) 国際経済機構論	金融経済論 II(資産価格の実証分析) 国際経済関係論	応用マクロ経済学A～F
---	-------------------	--------------------------	--------------------------------	-------------

## ○経済統計・計量経済・情報数理

上級計量経済学 確率・統計特論A～F 特別講義(金融工学とリスクマネジメント) 数理解析 I・II	中級計量経済学 中級計量ファイナンス 古典解析	計量経済学特論A～F 計量ファイナンスA・B 経済データ分析論 応用数理	上級統計学 I・II ファイナンス経済論A・B 統計調査論 比較統計システム論	確率論 I・II 計量ファイナンス特論A～F 数理構造 I・II
--	-------------------------------	---	--	--

## ○政治経済学・経済思想

上級政治経済学 I・II 比較経済思想	経済体制特論 移行経済論	経済システム論 I・II 新興市場経済論	経済学史応用 I・II 各国経済思潮A・B	比較経済システム論
------------------------	-----------------	-------------------------	--------------------------	-----------

## ○経済史

比較経済史 東洋経済史	現代経済史 日本経済史	文明史 比較経済システム論	経済史特殊問題 比較経済発展論	西洋経済史
----------------	----------------	------------------	--------------------	-------

## ○地域経済

日本経済論 南アジア経済特論 地域経済各論(アメリカ) 移行経済論	地域経済論A～F 西アジア経済特論 地域経済各論(ヨーロッパ) 新興市場経済論	地域研究方法論 地域経済各論(日本) 地域経済各論(ロシア・中東欧) 各国経済思潮A・B	日本経済特論 地域経済各論(アジア・オセアニア) 地域開発論	東アジア経済特論 地域経済各論(アフリカ・中近東) 開発途上地域論
--	--	---	--------------------------------------	---

## ○語学・演習・ワークショップ等

Academic and Professional Presentations I・II 演習	ワークショップ	Research-Based Academic Writing I・II リサーチ・ワークショップ	インディペンデント・スタディ	経済学研究の日本語(留学生用)
--	---------	--	----------------	-----------------

- 3 修士課程では、2年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 4 博士後期課程は、3年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 5 いずれの課程においても、特に優秀と認められた学生には、特例として在学期間の短縮が認められる。

平成30年度 一橋大学大学院経済学研究科担当教員一覧(予定)

〔氏名〕	〔役職〕	〔専門分野〕	〔氏名〕	〔役職〕	〔専門分野〕
阿部 修人 ABE, Naohito	教授	マクロ経済学、日本経済論、家計消費	岡部 智人 OKABE, Tomohito	講師	マクロ経済学、政治経済学
有本 寛 ARIMOTO, Yutaka	准教授	開発経済学、日本経済史、農業経済学	岡田 羊祐 OKADA, Yosuke	教授	産業組織論、競争政策、規制政策
榎本 武文 ENOMOTO, Takefumi	准教授	ルネサンス期における人文主義・修辞学、ルネサンス期における古典学研究	岡室 博之 OKAMURO, Hiroyuki	教授	産業組織論、企業経済学
深尾 京司 FUKAO, Kyoji	教授	マクロ経済学、経済発展論、国際経済学	奥田 英信 OKUDA, Hidenobu	教授	開発金融論、開発経済学
後藤 玲子 GOTOH, Reiko	教授	厚生経済学、経済思想・哲学	小塩 隆士 OSHIO, Takashi	教授	公共経済学、社会保障
橋沼 克美 HASHINUMA, Katsumi	教授	各国経済思潮・英米	大月 康弘 OTSUKI, Yasuhiro	教授	経済史、西洋中世史、地中海地域研究
服部 正純 HATTORI, Masazumi	教授	金融経済学、金融安定性	ポール ソーミック Paul, SAUMIK	准教授	構造変化、土地改革
本田 敏雄 HONDA, Toshio	教授	数理統計学、計量経済学	齊藤 誠 SAITO, Makoto	教授	マクロ経済学、金融経済学、ファイナンス理論
井伊 雅子 II, Masako	教授	医療経済学、公共経済学	笹倉 一広 SASAKURA, Kazuhiro	准教授	各国経済思潮・中国
今村 和宏 IMAMURA, Kazuhiro	准教授	日本語教授法、社会科学の日本語	佐藤 宏 SATO, Hiroshi	教授	中国経済論、中国現代史
石川 城太 ISHIKAWA, Jota	教授	国際経済学、産業組織論	佐藤 正広 SATO, Masahiro	教授	近代日本社会経済史、近代日本統計調査史
石倉 雅男 ISHIKURA, Masao	教授	政治経済学、経済学史	佐藤 主光 SATO, Motohiro	教授	財政学、公共経済学
磯部 健志 ISOBE, Takeshi	教授	数学、解析学	塩路 悦朗 SHIOJI, Etsuro	教授	マクロ経済学、日本のマクロ経済
祝迫 得夫 IWASAKO, Tokuo	教授	ファイナンス、実証マクロ経済学	杉田 洋一 SUGITA, Yoichi	講師	国際貿易論、産業組織論
岩崎 一郎 IWASAKI, Ichiro	教授	比較経済論、移行経済論	多鹿 智哉 TAJIKA, Tomoya	講師	ゲーム理論、政治経済学、組織の経済学
陣内 了 JINNAI, Ryo	准教授	マクロ経済学、金融論	高柳 友彦 TAKAYANAGI, Tomohiko	講師	近現代日本経済史、近現代日本史
神林 龍 KAMBAYASHI, Ryo	教授	労働経済学、経済発展、法と経済学	武岡 則男 TAKEOKA, Norio	教授	意思決定理論、ミクロ経済学
加納 隆 KANO, Takashi	教授	マクロ経済学、国際金融論	竹内 幹 TAKEUCHI, Kan	准教授	公共経済学、実験経済学
北村 行伸 KITAMURA, Yukinobu	教授	応用計量経済学、ミクロ計量経済学、公共経済学	田中 万理 TANAKA, Mari	講師	開発経済学、労働経済学、国際貿易
児玉 直美 KODAMA, Naomi	准教授	日本経済論、労働経済学	富浦 英一 TOMIURA, Eiichi	教授	国際経済学、応用計量経済学、日本貿易産業論
雲 和広 KUMO, Kazuhiro	教授	移行経済論、ロシア経済論	友部 謙一 TOMOBE, Kenichi	教授	日本経済史近世以降、歴史人口学
黒崎 卓 KUROSAKI, Takashi	教授	開発経済学、農業経済学、アジア経済論	津田 照久 TSUDA, Teruhisa	教授	数学、複素領域の微分方程式
黒住 英司 KUROZUMI, Eiji	教授	時系列分析、計量経済学	都留 康 TSURU, Tsuyoshi	教授	人事経済学、人的資源論
桑名 陽一 KUWANA, Yoichi	准教授	数理統計学、応用確率論	植杉 威一郎 UESUGI, Iichiro	教授	企業金融、中小企業、日本経済
馬 欣欣 MA, Xinxin	准教授	中国経済論、労働経済学	宇井 貴志 UI, Takashi	教授	ミクロ経済学、ゲーム理論
マクレラン フィリップ MACLELLAN, Philip	准教授	第二言語習得、状況的学習論、ケーススタディの方法論	宇南山 卓 UNAYAMA, Takashi	准教授	日本経済論、応用計量経済学
真野 裕吉 MANO, Yukichi	講師	開発経済学、地域経済学	臼井 恵美子 USUI, Emiko	准教授	労働経済学、応用計量経済学
丸 健 MARU, Takeshi	講師	農業経済学、開発経済学	渡辺 智之 WATANABE, Satoshi	教授	財政学、租税法、法と経済学
増田 一八 MASUDA, Kazuya	講師	開発経済学、教育経済学、医療経済学	渡部 敏明 WATANABE, Toshiaki	教授	計量ファイナンス、マクロ計量分析
南 裕子 MINAMI, Yuko	准教授	現代中国社会論、地域社会学	伍 曉鷹 WU, Harry Xiaoying	教授	開発経済学、計画経済論、中国経済論
森 啓明 MORI, Hiroaki	講師	労働経済学	山田 俊皓 YAMADA, Toshihiro	講師	確率数値解析、ファイナンス数学
森 宜人 MORI, Takahito	准教授	西洋経済史、ヨーロッパ都市史	山本 庸平 YAMAMOTO, Yohei	教授	計量経済学、マクロ経済分析、国際金融
森口 千晶 MORIGUCHI, Chiaki	教授	比較経済史、比較制度分析、家族の経済学	山重 慎二 YAMASHIGE, Shinji	教授	財政学、公共経済学、社会政策
中山 能力 NAKAYAMA, Chikara	教授	数学、代数学	山下 英俊 YAMASHITA, Hidetoshi	准教授	環境・資源経済学、廃棄物政策、エネルギー政策
西出 勝正 NISHIDE, Katsumasa	教授	金融工学、金融経済学	柳 貴英 YANAGI, Takahide	講師	計量経済学、数理統計学
小島 健 OJIMA, Takeshi	講師	マクロ経済学、行動経済学	横山 泉 YOKOYAMA, Izumi	講師	労働経済学、応用計量経済学

○教員の詳細については、以下ウェブページを参照してください。

<https://hri.ad.hit-u.ac.jp>